

(別記)

江南市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

江南市では、畑作での露地野菜を主体として、一部の地域で水稲が耕作されている。しかし、農業経営者の高齢化や後継者不足など農業を取り巻く環境が著しく変化しており、田畑の耕作放棄地化が年々進行している。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

水田農業は、自家用消費米の作付けが中心で、販売用米は少量の出荷にとどまり今後も減少傾向に推移すると予想される。今後は担い手の掘り起こしを行い、農地の利用集積等の推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれるため、飼料用米を転作作物として位置付ける。

イ 加工用米

当該地域の加工用米は、地元酒蔵への販売を中心に生産を行っており、近年、加工用米の需要が高まってきている。

生産性向上・品質向上・収量増加に関する取組に対して、産地交付金の産地戦略枠を活用し、平成30年度には0.7haの生産を目指す。

ウ その他地域振興作物

水田農家の離農による耕作放棄地の拡大を防ぎ、水田機能の維持を図るため、景観形成作物を推進する。

(3) 不作付地の解消

不作付水田に景観形成作物を推進することにより、耕作放棄地の拡大を防ぎ、水田機能の維持を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	71	66	65
飼料用米	0.3	0.7	0.8
米粉用米	—	—	
WCS 用稲	—	—	
加工用米	0.5	0.7	0.7
備蓄米	—	—	
麦	—	—	
大豆	—	—	
飼料作物	—	—	
そば	—	—	
なたね	—	—	
その他地域振興作物	0.1	1.1	1.1
景観形成作物	0.1	1.1	1.1

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組番号	対象作物	取組	分類※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	28 年度の 支援の有無
1	加工用米	生産性向上の取組	ア	実施面積	0.5	0.7	有

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に、数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

※畑地の面積は含めないこと。

※28 年度の支援の有無の欄は、産地交付金による助成を行う取組は「有」を、助成を行わない取組は「無」を記載する。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり